

展開する事業群(2-2-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野		子どもの権利に関する啓発

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	20年度実績	19年度実績	18年度実績
人権意識の高揚	人権問題研修会の開催	人権啓発推進	H17~21	H20.8.26 市民を対象に人権問題についての理解と認識を深めるための研修を実施 場所：コミュニティホール 講演：「誰もが暮らしやすい社会へ」 ビデオ：「NHK教育テレビ『きらっと生きる』の放送」 講師：深田麗美（京都リップル代表） 参加者：215人	1.8月28日(火)午後 犯罪被害者の問題研修(犯罪被害者の支援)講演(ひとりて悩まないで)ビデオ上映 206名参加	1.8月28日(月)午後 子どもの人権問題研修 [子どもの視点に立って～安全・安心を～]講演 [子どもの声に耳をすませて]ビデオ上映 196名参加
				H20.8.27 場所：コミュニティホール 講演：「DV被害の実態と支援について～私たちができること」 講師：竹之下雅代（ウイメンズカウンセリング京都スタッフ） 参加者：210人	2.8月29日(水)午後 同和(インターネット)問題研修(インターネットと人権)講演 170名参加	2.8月29日(火)午後 外国人等の人権問題研修 (共に生きる社会を目指して)講演 210名参加
				H20.8.28 場所：コミュニティホール 講演：「ハンセン病問題について～退所者の立場から」 ビデオ：「家族からひきはなされて」 講師：森 敏治（いちようの会会長） 参加者：180人	3.8月30日(木)午後 障害のある人の人権問題研修(共に働き共に生きる～小さな町の牧童たち～)講演(明日の福祉)ビデオ上映 202名参加	3.8月30日(水)午後 高齢者の人権問題研修 [私たちと身近な高齢者の人権]講演 [ボケなんてこわくない]ビデオ上映 185名参加
	わくわくワークショップの開催	人権啓発推進	H17~21	H20.10.23 実践的なワークショップ形式の研修に参加してもらうことで地域における指導者を養成 ワークショップ「"多数"がいいの!?～"少数"を見落としていませんか?～」 ファシリテーター 渡辺 毅 場所：社会福祉協議会 参加者：23人	1.9月11日(火)内容(植村牧場見学) 23名参加	1.10月26日(木) 内容(字が書けるって当たり前のこと?) 22名参加
				H20.10.30 フィールドワーク 「裁判所傍聴」～裁判員制度についての説明、裁判所の見学、傍聴など 場所：京都地方裁判所 参加者：26人	2.9月18日(火)内容(人間関係について) 15名参加	2.10月31日(火) 内容(大阪人権博物館見学) 20名参加

	広報紙、啓発冊子等による啓発	人権啓発推進	H17～21	人権啓発物品(2色ボールペン700本) 啓発新聞全戸配布	8月、11月 広域人	人権啓発物品(2色ボールペン700本) 広域人権啓発新聞全戸配布	9月1日、12月1日	作成なし
	ひゅまんシネマフェスタの開催(追加事業)	人権啓発推進	H17～21	映画を通し人権意識を高める。夏休み中の子どもを対象にアニメ等の啓発映画を上映 H20.8.7 「11びきのねこ」 「シャーロットのおくりもの」 場所：中央公民館 参加者：286人		8月7日(火) 題名(オープン・シーズンほか2作品)上映 308名参加		
	ヒューマン映画上映会の開催	人権啓発推進	H17～21	人権に関する映画の上映を行う。 H20.8.9 「母べえ」(字幕・副音声入り) 場所：中央公民館 参加者 182人		8月18日(土) 題名(手紙)上映 90名参加 2月16日(土) 題名(森のワル・ギャング)上映 172名参加		2月3日(土) 題名(パッチギ)上映 74名参加
子どもの権利、児童福祉の理念の周知	「児童福祉週間」イベントの実施	こども福祉	H17～21	平成20年4月27日～5月18日まで実施 (こいのぼりづくりとミュージカル劇鑑賞 親子114人・ 野外活動センター無料開放 398人・ 田辺公園プール無料開放中学生以下 親子 352人・ 子育て講演会「子どもの脳と発達と運動」柳沢秋孝(松本女子短期大学教授) 49人・ 絵本の読み聞かせ(講師 西澤佳代子)54人・ 子どもの主張大会 発表者 12人 作文応募者926人		平成19年4月27日～5月20日まで実施 (こいのぼりづくりと人形劇鑑賞 親子25組・ 野外活動センター無料開放 295人・ 田辺公園プール無料開放 中学生以下 122人・ 子育て講演会「子育てはみんなの力で」工藤充子(元児童相談所長) 21人・ 子どもの主張大会 発表者 13人 作文応募者715人		1. 12月9日(土)～10日(日) 幼児・児童の作品展示 243名参観 平成18年4月28日～5月20日まで実施 (こいのぼりづくりと人形劇鑑賞 親子30組・ 野外活動センター無料開放 260名・ 田辺公園プール無料開放 228名・ 子育て講演会 20人・ 子どもの主張大会 発表者 13名 作文応募者1,158名
	価値観の違いを認める意識の醸成 障害のある児童との保育の実施 縦割り保育の実施 地域イントラネット事業	こども福祉 他	H17～21	7月10日 保育所テレビ会議 9月5日 保育所テレビ会議 10月31日 保育所テレビ会議 11月7日 保育所テレビ会議 12月29日 市長訓示(仕事納め) 1月5日 市長訓示(仕事始め) 1月14日 保育所テレビ会議 2月20日 保育所テレビ会議		11月13日 保育所テレビ会議 12月5日 保育所テレビ会議 12月28日 市長訓示(仕事納め) 1月7日 市長訓示(仕事始め) 1月9日 保育所テレビ会議 2月15日 保育所テレビ会議		2. 12月10日(日) 新井宗平・山本かずみのPureHeartコンサート(輝く命のために) 158名参加 テレビ会議7回 6月28日 4保育所とイントラネットを通じ、図書館司書による読み聞かせを行った。 6月30日 8幼稚園とイントラネットを通じ、田辺幼稚園から発信し、キッズエアロビクスを行った。 7月10日 8幼稚園とイントラネットを通じ、図書館司書による読み聞かせを行った。 8月11日 4保育所とイントラネットを通じ、人形劇を行った。 11月16日 8幼稚園とイントラネットを通じ、4歳児を対象に、映像での歌やゲーム遊びを通して交流を図る「全国幼稚園ウイークin京田辺」を行った。 12月29日 4保育所及び8幼稚園に、仕事納めの市長あいさつを発信。 1月5日 4保育所及び8幼稚園に、仕事始めの市長あいさつを発信。
人権教育の充実	研修会の開催	学校教育 社会教育	H17～21	・保、幼、小、中学校教職員人権教育研修会 8月20日 参加者238名 ・(人権教育)市民公開講座、社会教育団体等 人権教育指導者研修会 8月8日 88名 ・留守家庭児童会指導員人権問題学習会 2月4日 56名 ・京田辺市ハートフルフェスタ 12月6日 参加者103名 ・京田辺市ハートフルフェスタ「子どもの作文等展示」 展示作品344点、延参観者610名 ・「子どもの人権に関する映画等鑑賞」12月20日 参加者27名		・保、幼、小、中学校教職員人権教育研修会 8月22日 参加者244名 ・(人権教育)市民公開講座、社会教育団体等 人権教育指導者研修会 8月10日 97名 ・留守家庭児童会指導員人権問題学習会 2月6日 50名 ・京田辺市ハートフルフェスタ 12月9日 参加者179名 ・京田辺市ハートフルフェスタ「子どもの作文等展示」 展示作品284点、延参観者884名 ・「子どもの人権に関する映画等鑑賞」12月15日 参加者30名 ・子どもの人権「生涯学習講演会」2月16日 参加者74名		・保、幼、小、中学校教職員人権教育研修会 8月23日 参加者220名 ・社会教育団体等 人権教育指導者研修会 7月16日社会教育指導者51名参加 ・(人権教育)市民公開講座 8月4日 85名 ・PTA等 人権教育研修会 本年度はPTA等の都合で未実施 ・人権を考える集い「講演会」12月10日参加者158名 ・人権を考える集い「子どもの作文等展示」 展示作品119点、参観者243名 ・「子どもの人権に関する映画等鑑賞」3月17日 参加者58名 以上7回、943人参加 各校の推進計画により実施した。
			H18～21	「評価票」の作成と実施 教育委員会各事務局、管理下の所属所及び幼、小、中学校		「評価票」の作成と実施 教育委員会各事務局、管理下の所属所及び幼、小、中学校		教育委員会「人権教育の指針」及び「評価票」の作成と実施

展開する事業群(2-2-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野		ひとり親家庭の自立支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	20年度実績	19年度実績	18年度実績
民生児童委員によるひとり親家庭の自立支援	京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成(区域担当委員121名、主任児童委員10名への活動費の助成)	社会福祉	H17～21	(再掲2-(1)-)	(再掲2-(1)-)	(再掲2-(1)-)
母子家庭医療費助成	18歳未満の子どもとその子を扶養する母親の医療費を助成	国保医療課	H17～21	20年度給付実績 10,779件	19年度給付実績 10,520件	18年度給付実績 10,192件
母子家庭の日常生活支援	母子支援員による相談支援	こども福祉	H17～21	未設置	1人設置	未設置
	母子家庭等日常生活支援事業(府制度・周知)	こども福祉	H17～21	(府制度・周知)	(府制度・周知)	(府制度・周知)
	母子世帯府営住宅優先入居(府制度・周知)	こども福祉	H17～21	(府制度・周知)	(府制度・周知)	(府制度・周知)
各種手当の支給による支援	児童扶養手当	こども福祉	H17～21	受給者数 369名 支払額 172,712千円	受給者数 363名 支払額 173,796千円	受給者数 369名 支払額 169,782千円
	市特別児童福祉手当	こども福祉	H17～21	受給者数 438人、児童数 639人、支給総額 12,439千円	受給者数 432人、児童数 626人、支給総額 12,220千円	受給者数 430人、児童数 626人、支給総額 12,188,400円
	母子家庭奨学金(府制度・広報、申請書記布、進達事務)	こども福祉	H17～21	申請者数 445人	申請者数 419人	申請者数 404人
	交通遺児奨学金(府制度・広報、申請書記布)	こども福祉	H17～21	申請者数 2名(児童数 2名)	申請者数 2名(児童数 3名)	申請者数 2名(児童数 3名)
母子父子家庭の交流促進	父子・母子家庭新入学児童を祝い励ます会の開催	こども福祉	H17～21	参加者数 10名 37人にランリョック贈呈した。	参加者数 9名 45人にランリョック贈呈した。	参加者数 6名 37人にランリョック贈呈した。
	京田辺母子会活動の促進 活動支援 母子家庭交流事業(レクリエーション)	こども福祉	H17～21	会員数 300人 補助金の支給 76,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生児童委員協議会との連携で支援を行った。	会員数 300人 補助金の支給 76,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生児童委員協議会との連携で支援を行った。	会員数 300人 補助金の支給 76,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生児童委員協議会との連携で支援を行った。
女性相談	女性の相談室の開催(再掲1-(3)-)	市民参画	H17～21	(再掲1-(3)-)	(再掲1-(3)-)	(再掲1-(3)-)

展開する事業群(2-2-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野		障害児施策等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	20年度実績	19年度実績	18年度実績
京田辺市障害者基本計画の推進	障害児居宅介護 (障害のある児童の在宅生活を支援するため、身体介護・家事援助・移動介護に対する支援費を支給)	社会福祉	H17～21	障害者自立支援法により、障害児の在宅生活を支援するために、介護給付の支給及び地域生活支援事業による支援を行う。介護給付の支給による居宅介護利用者数6名、年間利用時間数1359時間。行動援護利用者数6名、年間利用時間数642時間。	障害者自立支援法により、障害児の在宅生活を支援するために、介護給付の支給及び地域生活支援事業による支援を行う。介護給付の支給による居宅介護利用者数3名、年間利用時間数863.5時間。行動援護利用者数5名、年間利用時間数751時間。地域生活支援事業による移動支援事業利用者数36人、年間利用時間数9200時間。日中一時支援事業利用者数17人、年間利用時間数2075時間。	自立支援法により、障害児の在宅生活を支援するため、介護給付の支給、地域生活支援事業による支援を行う。居宅介護 2人、88時間・行動援護 5人、372.5時間・移動支援 (4～9月)29人、2,196時間 (10～3月)32人、3,413時間・地域生活支援事業 (日中一時支援)(10～3月)23人、1,900時間・地域活動支援センター事業(10～3月) 0人
	障害児短期入所 (障害のある児童及びその家族の生活を支援し、福祉の向上を図ることを目的として、支援費を支給)	社会福祉	H17～21	障害児及びその家族の生活を支援し、障害者自立支援法により、14人に支給。	障害児及びその家族の生活を支援し、障害者自立支援法により、4人に支給。	障害児及びその家族の生活を支援し、自立支援法により、10月からは、短期間、施設で介護等を行う宿泊のみ。(日中分は、地域生活支援事業で対応)(4～9月)19人、(10～3月)4人に支給。
	児童補装具給付事業 (補装具の給付)	社会福祉	H17～21	障害者自立支援法に基づき、補装具の支給事業を行った。購入14件、修理8件。	障害者自立支援法に基づき、補装具の支給事業を行った。購入24件、修理19件。	補装具の給付事業として、交付 56件(4～9月)、修理 13件(4～9月)の給付を行った。10月から、自立支援法が施行され、購入 13件(10～3月)、修理 3件(10～3月)の給付を行った。
	児童日常生活用具給付事業	社会福祉	H17～21	障害者自立支援法に基づき、在宅の重度障害者等に対して、日常生活用具の給付事業を行った。59件。	障害者自立支援法に基づき、在宅の重度障害者等に対して、日常生活用具の給付事業を行った。18件。	日常生活用具の給付事業として、5件(4～9月)の給付を行った。10月から、自立支援法が施行され、17件(10～3月)の給付を行った。
	養護学校の進路相談	社会福祉	H17～21	各関係機関との連絡調整を行い、養護学校卒業見込み者の就労支援を行った。7人に支援。	各関係機関との連絡調整を行い、養護学校卒業見込み者の就労支援を行った。4人に支援。	各関係機関との連絡調整を行い、養護学校卒業見込み者の就労支援を行った。9人に支援。
	障害児保育の実施 (保育所での保育に欠ける障害のある児童の受け入れ)	こども福祉	H17～21	6園 25人	6園 18人	4園 20人

障害児保育・教育等の推進	親子教室の実施 (田辺児童館)	こども福祉	H17～21	延べ参加者数(保護者を含む) 956人	延べ参加者数(保護者を含む) 1,150人	延べ参加者数(保護者を含む) 1,014人
	療育教室の実施(心身障害児通園事業) (田辺児童館)	こども福祉	H17～21	延べ利用者数(保護者を含む) 2,584人 申請児童数 人	延べ利用者数(保護者を含む) 2,890人 申請児童数 38人	延べ利用者数(保護者を含む) 2,286人 申請児童数 37人
	サマースクール事業への支援	社会福祉	H17～21	学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し人的な支援等を行った。9日実施、総参加者506人(うち対象者総数155人、ボランティア等総数142人)	学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し人的な支援等を行った。10日実施、参加者611人(うち対象者166人、ボランティア175人など)	学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し人的な支援等を行った。10日実施、参加者630人(うち対象者194人、ボランティア169人など)
	就学指導委員会活動の充実	学校教育	H17～21	保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を蜜にし、障害のある幼児・児童及び生徒の発達状況等を的確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。補助金額198千円	保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を蜜にし、障害のある幼児・児童及び生徒の発達状況等を的確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。補助金額209千円	保・幼・小・中学校と障害児教育諸学校及び関係機関との連携を蜜にし、障害児の状態、発達段階、特性などを乳幼児段階からの確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。補助金額209千円
	特別支援教育の推進	学校教育	H17～21	京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をしている。また、市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をしている。17年度から幼・小・中の連携をしている。補助金額36千円	京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をしている。また、市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をしている。17年度から幼・小・中の連携をしている。補助金額38千円	京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をしている。また、市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をしている。17年度から幼・小・中の連携をしている。補助金額38千円
各種手当等の支給による支援	特別児童扶養手当 (国制度)	こども福祉	H17～21	受給者数 80名	受給者数 83名	受給者数 79名
	市心身障害児特別手当	こども福祉	H17～21	受給者数 104名 児童数109名 支給総額 3,041千円	受給者数 98名 児童数103名 支給総額 2,681千円	受給者数 86名 児童数 92名 支給総額 2,448,000円
	特別障害者手当等給付事業 (障害児福祉手当の支給)	社会福祉	H17～21	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。32人に支給。	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。34人に支給。	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。33人に支給。

	障害児(者)施設入所保護者負担金の支給 (心身に障害のある児童の施設入所に対し、保護者の負担金を一部助成)	社会福祉	H17～21	事業終了	事業終了	心身障害児・者の施設入所に対し、保護者の負担金を一部助成することで、負担の軽減を図っている。平成18年9月末で、事業終了。前期のみ9人に助成。
	各種援助・補助金による保護者負担の軽減・特殊教育就学奨励費 (再掲2-(1)-)	学校教育	H17～21	(再掲2-(1)-)	(再掲2-(1)-)	(再掲2-(1)-)
学校施設のバリアフリー化	小・中学校への障害のある児童の受け入れに当たり、施設のバリアフリー化を図るため、エレベーターを設置	教育総務	H17～21	エレベータの設置はしていません	田辺東幼稚園に身体障害者用トイレを設置。	田辺中学校エレベーター新設 中学校に在籍する肢体不自由児の動線を確保するために、身障者用エレベーターを設置した。
発達相談の実施	各種発達相談の実施 (再掲1-(1)-)	こども福祉	H17～21	(再掲1-(1)-)	(再掲1-(1)-)	(再掲1-(1)-)
放課後児童対策の推進	留守家庭児童会での障害のある児童の受入れ (再掲1-(3)-)	社会教育	H17～21	(再掲1-(3)-)申込者全員(5名)受入れ	(再掲1-(3)-)申込者全員(8名)受入れ	(再掲1-(3)-)申込者全員(8名)受入れ

展開する事業群(2-2-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、 健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推 進
基本施策分野		子どもの虐待防止

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	20年度実績	19年度実績	18年度実績
家庭児童相談室等による 養育支援	家庭児童相談室での相談・相談による支援(再掲2-(1)-) 啓発パンフレットの配布	こども福祉	H17~21	相談件数 1112件	相談件数 656件	相談件数 638件
	地域子育て支援センターでの子育て相談(再掲1-(2)-)	こども福祉	H17~21	(再掲1-(2)-)	(再掲1-(2)-)	(再掲1-(2)-)
虐待防止ネットワーク	虐待防止ネットワーク() ・ネットワーク会議設置 ・ハンドブックの作成等 ・関係機関等との連携強化	こども福祉	H17~21	要保護児童対策地域協議会設置 代表者会議・実務者会議開催による関係機関との連携強化	要保護児童対策地域協議会設置 代表者会議・実務者会議開催による関係機関との連携強化	要保護児童対策地域協議会設置 代表者会議・実務者会議開催による関係機関との連携強化
各種相談事業	各種健診・相談・訪問事業(再掲1-(1)-)	こども福祉	H17~21	(再掲1-(1)-)	(再掲1-(1)-)	(再掲1-(1)-)
意識啓発の推進	虐待防止に関する広報、啓発 ・広報 ・研修会開催	こども福祉	H17~21	子育て講演会「子どもの脳と発達と運動」講師柳沢 秋孝(松本女史短期大学教授)49人 田辺中央公民館 ミニ子育て講演会「子どもの絵本の読み聞かせ」講師 西澤佳代子54人田辺東公民館 虐待予防講演会の実施	子育て講演会「子育てはみんなの力で」工藤充子(元児童相談所長) 大住児童館ふれあいセンター - 21人	子育て講演会(児童週間行事) 5月20日 中央公民館大ホール 参加者 20名

展開する事業群(2-2-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野		外国人家庭や帰国子女への支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	20年度実績	19年度実績	18年度実績
在住外国人・留学生が住みやすいまちづくりの推進	日常生活における情報提供や市民ボランティアの育成 京田辺国際交流協会を通じた市民ボランティアの育成や地域の国際化の促進 公共施設等での外国語表記の促進	市民参画	H17～21	1.京田辺国際交流協会にて、市民を対象とした国際交流・国際理解事業を開催。(例:民族音楽コンサート、市英語指導助手との交流会、料理教室など) 2.一部の公共施設等での外国語表記がされている。	1.京田辺国際交流協会にて、市民を対象とした国際交流・国際理解事業を開催。(例:民族音楽コンサート、市英語指導助手や同志社大学留学生との交流会、料理教室など) 2.一部の公共施設等での外国語表記がされている。	1.京田辺国際交流協会にて、市民を対象とした国際交流・国際理解事業を開催。(例:民族音楽コンサート、市英語指導助手や同志社大学留学生との交流会、料理教室など) 2.一部の公共施設等での外国語表記がされている。
	外国語母子健康手帳の交付 (英語・中国語・韓国語・タガログ語・スペイン語・タイ語・ポルトガル語・インドネシア語)	こども福祉	H17～21	発行 英語 2人	発行 英語 4人、中国語 1人	発行 なし

17年度実績
1. 8月25日(木)午前 同和問題研修 [差別事件の現状と課題] 講演 19 2名参加
2. 8月25日(木)午後 女性、子どもの問題研修 [女性の問題、家庭の中 の(子どもの人権)] 講演 203名参加
3. 8月30日(火) 心に障害のある人の問題研修 [精神疾患をもつ人の人 権] 講演 205名参加
1. 10月16日(日) 内容 (障害をもつ人の人権) 12名参加
2. 10月25日(火) 内容 (亀岡市盲導犬総合訓練センター見学) 14名 参加
3. 11月13日(日) 内容 (子ども・高齢者の人権) 11名参加
4. 11月27日(日) 内容 (性的人権) 10名参加
5. 1月20日(金) 内容 (人権教育・啓発推進計画策定に向けて) 22名 参加

<p>人権啓発冊子 [じんけん～人権に気づいて考えよう - 改訂版] 1,300部 作成</p>
<p>2月4日 題名 (リットルの涙) 上映 240名参加</p>
<p>平成17年4月26日～5月8日まで実施 (こいのぼり掲揚と人形劇鑑賞) 10 0名・ 野外活動センター無料開放 341名・ 田辺公園プール無料開 放 268名・ 子どもの主張大会 発表者 13名 作文応募者 1,026名</p>
<p>地域イントラネット事業、テレビ会議 6回 7月1日 4保育所とイントラ ネットを通じ、各保育所代表の保育士による催しを行った。 10月18日 4保育所とイントラネットを通じ、草内保育所による発表を行った。 11月 17日 8幼稚園の4歳児がイントラネットを通じ、幼稚園大会を行った。参加 者数 318人 12月9日 4保育所とイントラネットを通じ、三山木保育 所による発表を行った。 12月29日・1月5日 4保育所及び8幼稚園 に、年末年始の挨拶等を発信した。 1月31日 4保育所とイントラネッ トを通じ、草内保育所による発表を行った。 ・障害のある児童 との混合保育を実施している。 ・現在完全ではないが、一部で縦割り保 育を行っており、今後もその方向で行っていく。</p>
<p>7回開催 参加者数 641人 ・各校の推進計画により実施した。</p>
<p>教育委員会「人権教育の指針」及び「評価票」の原案の作成</p>

17年度実績
(再掲2-(1)-)
17年度給付実績 9,951件
未設置
(府制度:周知)
(府制度:周知)
受給者数 362名 支払額 167,943千円
受給者数 406人、児童数 593人、支給総額 11,476,200円
申請者数 399人
申請者数 3名(児童数 4名)
参加者数 7名 30人にランリュック贈呈した。
会員数 300人 補助金の支給 80,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生児童委員協議会との連携で支援を行った。
(再掲1-(3)-)

17年度実績
<p>障害のある児童の在宅生活を支援するため、身体介護・家事援助・移動介護に対する支援費を支給した。 ・身体介護 3人 678.5時間 ・家事援助 0人 ・移動介護 22人 3,830.0時間</p>
<p>障害のある児童及びその家族の生活を擁護し、福祉の向上を図ることを目的として支援費を支給した。 21人に支給。</p>
<p>補装具の給付事業として、交付 116件 修理 68件 給付を行った。</p>
<p>日常生活用具の給付事業として、10件の給付を行った。</p>
<p>各関係機関との連絡調整を行い、養護学校卒業見込み者の就労支援を行った。 ・7人に支援。</p>
<p>4園 17人</p>

<p>延べ参加者数(保護者を含む) 1,102人</p>
<p>延べ利用者数(保護者を含む) 2,238人 申請児童数 41人</p>
<p>学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し人的支援を行った。10日実施、参加者540人(うち対象者164人、ボランティア128人など)</p>
<p>保・幼・小・中学校と障害児教育諸学校及び関係機関との連携を密にし、障害児の状態、発達段階、特性などを乳幼児段階からの確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。補助額 220千円</p>
<p>京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をしている。また、市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をしている。17年度から幼・小・中の連携をしている。</p>
<p>受給者数 76名</p>
<p>受給者数 80名 児童数 86名 支給総額 2,088,000円</p>
<p>在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。29人に支給。</p>

心身障害児・者の施設入所に対し、保護者の負担金を一部助成することで、負担の軽減を図っている。・前期 16人 ・後期 15人に助成を行った。

(再掲2-(1)-)

田辺小のバリアフリー化及びエレベーターの新設 ・小学校に在籍する肢体不自由児の動線確保のために、渡り廊下の改修及び屋内スロープを設置するとともに、身障者用のエレベーターを設置した。

(再掲1-(1)-)

(再掲1-(3)-)申込者全員(5名)受け入れ

17年度実績
相談件数 531件・虐待防止リーフレットの作成、保育所・幼稚園・乳幼児健診等での配布
(再掲1-(2)-)
平成18年度中に要保護児童対策地域協議会を設置予定。
(再掲1-(1)-)
未実施

17年度実績
1. 京田辺国際交流協会にて、市民を対象とした国際交流・国際理解事業を開催した。(民族音楽コンサート、英語指導助手との交流会、料理教室など行った。) 2. 一部の公共施設等での外国語表記がされている。
発行 英語 1人